

す～ゆに協連職協社

第30号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会

平成29年10月1日 発行

平成29年度事業計画

社会福祉協議会は、人にやさしい福祉のまちづくりを進めるために、地域の皆さんの協力を得ながら共に考え、地域福祉の向上のため各事業に取り組むことが求められています。

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会もこのことを推進していくため、次のとおり組織運営・活動を行います。

〈主な活動〉

○研修活動

・支部研修の促進

・社協職員新任・初級研修の実施

○広報活動

・職連協にゆ～すの発行

・茨城県市町村社協データブックの作成

○支部活動活性化事業

・支部長との連携

・支部運営委員への支援

・支部活動助成事業の実施

○福利厚生・互助事業

・退職記念品等の贈呈

○他団体との連携

○会務

○その他



新役員が決定しました

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会では、平成29年3月末に横島智子氏（常総市社協）の退任に伴い新役員が次のとおり決まりました。また、昨年に引き続き役員の方のご紹介です。

〈新役員〉

理事 平塚 友紀（常総市社協）

〈新役職〉

副会長 和佐原 真一

（かすみがうら市社協）

〈継続役員〉

会長 塙 絵美（鉾田市社協）

副会長 大川 陽美（鹿嶋市社協）

理事 斉藤 生美恵（高萩市社協）

理事 松川 明子（大子町社協）

理事 久保 康司（ひたちなか市社協）

理事 川崎 克彦（東海村社協）

理事 村上 利恵（茨城町社協）

理事 阿久津 純子（城里町社協）

理事 前野 剛（石岡市社協）

理事 山口 仁美（五霞町社協）

理事 清水 昌樹（牛久市社協）

理事 大越 由佳（利根町社協）

平成29年度茨城県内社会福祉協議会職員新任・初級研修

平成29年7月4日（火）～5日（水）に、『いいいの郷常総』にて茨城県内社会福祉協議会職員新任・初級研修が開催されました。県内16の市町村社協から33名の参加があり有意義な研修会となりました。

講義を受け、社会人としてのマナーや社協職員としての知識・役割を学ぶことができました。演習では、先輩からの貴重な体験談を聞くことができ、社協マンとしての自分自身を見直し今後のことを考える場となり、また職連協理事も先輩として、大切なことを後輩に伝える良い機会となりました。

研修をとおして仲間づくり、横・縦の繋がりの大切さを学ぶことが出来た有意義な2日間となりました。



平成28年度事業報告

○理事会（2回）・代議員会（1回）・監査（1回）開催

○研修事業

・平成28年度ソーシャルインクルージョン研究会議～つながりづくりのしゃべり場～

- 28. 5. 18 第1回 ・社会福祉法改正と社協活動
- 28. 6. 15 第2回 ・災害時における社協の初期対応
- 28. 9. 21 第3回 ・社会福祉法人制度改革と法人社協モデル定款
- 28. 10. 19 第4回 ・社会福祉法人制度改革と法人社協モデル定款
- 29. 1. 19 第5回 ・社会福祉法人制度改革に係る諸手続き
・職場のストレスチェックへの取り組み
・地域力強化事業と今後のまちづくり

・第53回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

28. 7. 14～15 新潟県南魚沼群湯沢町湯沢にて

参加者7名（会長1名、事務局1名、会員4名、非会員1名）

・基調講演「ラブ・ラフ・ライフ」 新潟お笑い集団 NAMARA 代表 江口歩氏

・分科会（全5分科会）

・記念講演「地域とともに～魚沼の食と文化を伝える～」

有限会社魚沼新潟物産 代表取締役社長 中俣善也氏



県北支部会員交流



優勝しました！

稲北支部は、8社協、会員数85名ですが年々、会員数が少なくなっているのがとても寂しい限りです。28年度は、恒例の交流ソフトバレーボール大会の他、7月に筑波大の河野先生を講師に「セクシャルマインリティー研修」と、2月に㈱インソーの大塚先生を迎え、「メンタルヘルス研修」を実施しました。SNSの普及や日常業務の忙しさ等様々な理由で、当支部に限らず他支部においても職連協の存在意義が揺らいできているかもしれません。あらためて、会員みんなで職連協活動を見つめ直すことが大切だと思います。

支部紹介コーナー

稲北支部会員交流



県北支部は、会員数58名、北茨城市・高萩市・日立市・常陸太田市・大子町の5市町村協で活動しています。平成28年度は、研修会と交流会を実施いたしました。

研修会につきましては、元常総市社協事務局長の満本氏をお招きし、平成27年9月に起きた関東・東北豪雨において被害にあった常総市の災害ボランティアセンターでの報告や、災害発生時の状況などについて、お話を聞きました。

また、交流会ではソフトバレー大会を開催し、市町村協対抗戦のチーム編成のもと、会員同士の交流をすることができました。

今後も研修会や交流会を通じて、普段の仕事においても会員同士で情報交換や情報提供など、“社協職員のつながり”が図れるような活動を実施していきたいです。